「モンゴルの草原でＴシャツをひらひらさせたい」
私たちの外部資金獲得術！！

NPO 砂浜美術館

1. 団体ミッション

砂浜美術館は高知県黒潮町（旧大方町）で 1989 年から活動している NPO です。長さ 4km の砂浜を頭の中で「美術館」と考えることで、ふだん何気なく見過ごしている身の回りの自然や風景を「作品」化。新しい価値観を創造するオリジナルの企画を通じて、心豊かに、楽しく暮らすためのアイデアを伝えています。住んでよかったと思えるまち、また訪れたいと思えるまちを、砂浜美術館の取組を通じて感じてもらうことが目的です。

砂浜美術館ホームページ　http://sunabi.com/

2. 活動内容

イベントの開催（T シャツアート展・シーサイドギャラリー夏・潮風のキルト展・漂流物展等）
高知県土佐西南大規模公園の指定管理業務
ホエールウォッチング
黒潮町ケーブルテレビ（IWK TV）の自主放送番組制作業務
町の観光振興業務　等

3. 補助金・助成金導入事例

ホームページで「助成金　申請　コツ」とキーワードを入力すると、実に様々なページが検索され、助成金関連の申請書の書き方がかなり詳しくまとめられているページもあります。概念的なことはこうしたページに十分なほどまとまって記載されていますので、今回は実際の活用事例を題材に、ご紹介したいと思います。

事例 「モンゴルの草原でＴシャツをひらひらさせたい」

砂浜美術館で毎年 5 月に開催しているTシャツアート展。約 1000 枚の T シャツが砂浜でひら

ひらします。このイベントは、黒潮町の観光振興業務として一部委託金を頂きながら、一般参加者からの応募料や企業スポンサー、また会場で来場者に頂く協力金等により運営しています。しかし、Tシャツアート展を通じた新しい展開は、助成金や補助金の活用を検討します。2010 年、Tシャツアート展がモンゴルの草原で開催されました。「モンゴルの草原で T シャツをひらひらさせたい」。この実現には、思いをもって行動するスタッフの情熱と、経費が必要です。

現状では収益が見込める事業ではないので、スタッフのモンゴルへの渡航費や滞在費、現地での展示費用など資金調達が必要でした。最終的に次の 3 つの助成金を活用させて頂き実施しました。

① 国際交流基金（民間で応募可）
（助成内容）・砂美スタッフ等のモンゴルへの渡航費、現地滞在費

② 自治体国際化協会（市町村からの応募のみ）
（助成内容）・モンゴルメンバー3 名を黒潮町に招聘するための旅費滞在費
・黒潮町内の子どもたちの T シャツアート展参加費（T シャツ制作費等）
・モンゴルメンバーの通訳者の旅費交通費（もと JICA モンゴル派遣スタッフ 2 名）

③ ウランバートル観光協会（※ウランバートルはモンゴルの首都）
（内容）・開催のための経費（準備費等）

【ポイント①】　　行政機関等と密にコミュニケーションをとる

②は行政（黒潮町）を通じて情報を得て、黒潮町から申請して頂きました。行政の企画担当部門の職員さんには、機会あるごとに「モンゴルでTシャツアート展を開催するための渡航費や、地域の子どもたちの国際理解教育につながる費用がほしい」ことを具体的に伝えていました。黒潮町の担当の方も、役場に送られてくる助成金・補助金の情報を見る時、活用できる事業があるかどうかを気に留めていてくれたのでしょう。しかし、②の助成金の使途は、国内で実施する国際交流の費用のみで、日本から海外（モンゴル）への渡航費は対象外でした。

【ポイント②】　　助成事業が補助金、助成金の内容にあっているか。募集要項等をよくよむ

②の助成金がモンゴルへの渡航費には使用できないことが分かり、活用をあきらめようと思っていました。しかし、行政担当者の一言で活用する道が開けました。

「日本からモンゴルへの渡航費には活用できないが、モンゴル人を黒潮町に招聘し、小学校での授業を通して国際交流するために、モンゴルから日本への渡航費としては活用で

きる」。

②の助成金は、自治体の国際化を支援してくれる助成金。モンゴルでのＴシャツアート展の開催と地元黒潮町の接点を強化する目的で、モンゴルから３名を黒潮町へ招聘し、町内すべての小学校で国際理解教育の授業を実施することができました。

【ポイント③】　　絶えず幅広く情報を集める（助成金情報を集めるアンテナをもつ）

最終的に、モンゴルへの渡航費は、国際交流基金を活用しました。高知県NPOボランティアセンターや、えこらぼから送って頂く助成金情報や、インターネットを活用して、目的にあう助成金等を粘り強く収集することが大切です。

4.　まとめ

補助金や助成金を獲得するためのコツは、他にもたくさんあるでしょう。でも何よりも、事業実施を通じて、こういう成果を得たいということを明確にし、いろいろな人に粘り強く伝える。すると、思わぬところで、活用が可能な外部資金制度の情報とつながります。また少し見方を変えれば、活用できないと思っていた助成金等でも、アプローチの仕方次第で、目的とする事業が実施できることもあることも分かりました。少しでも参考にして頂けたら幸いです。

砂浜美術館のホームページ　http://sunabi.com